

出血性潰瘍で内視鏡的止血術を受けられる様へ

区分	入院当日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
目標				・状態が安定し出血がなかったら食事が開始となります						・血液検査で異常がなければ退院です
治療	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査、胃カメラの検査があります。輸血準備のための血液検査もします。 入院時より点滴をはじめます (24時間、点滴があります。入院時間に合わせて抗潰瘍剤を1~2回点滴します)	<ul style="list-style-type: none"> 血液検査、胃カメラがあります 点滴は一日中続きます 抗潰瘍剤の点滴が朝、夕にあります 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴は一日中続きます 抗潰瘍剤の点滴が朝、夕にあります(本日で終了します) 	<ul style="list-style-type: none"> 内服薬 タケプロン 1カプセル(朝食後)が始まります お薬の説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が1本あります 				<ul style="list-style-type: none"> 早朝、血液検査があります 	
安静と排泄	<ul style="list-style-type: none"> 入院時よりベッド上安静です。尿や便意を催されたときはお知らせください。尿器や便器、紙オムツを使用します。場合によっては尿の管を入れます 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たら、トイレまで歩行できます。その他はできるだけ安静にしてください 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たら、病棟内の歩行ができるようになりますが、症状に合わせて動いてください 					<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たら、安静度が自由です 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 一日中、絶飲絶食です 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たら水分(お茶・白湯・ポカリ等)を飲むことができます 	<ul style="list-style-type: none"> 潰瘍2度食です(3分粥) 	<ul style="list-style-type: none"> 潰瘍3度食です(5分粥) 	<ul style="list-style-type: none"> 潰瘍4度食です(全粥) 	<ul style="list-style-type: none"> 潰瘍5度食です(全粥) 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 吐物や排泄物等で寝衣を汚された時は着がえのお手伝いをします 	<ul style="list-style-type: none"> 洗面のお手伝いをします 蒸タオルで身体を拭きます 		<ul style="list-style-type: none"> 身体に異常がなく、医師の許可があればシャワーができます 					<ul style="list-style-type: none"> 身体異常がなく、医師の許可が出たら入浴できます 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> 入院迄飲まれていた飲み薬や外用薬をお出しください(医師の指示により中止又は休薬していただくことがあります) 入院時・胃カメラの前・2時間後・6時間後に血圧・脈拍・体温・症状を観察します。また、状況にあわせて随時観察します 胃カメラ後は2時間臥床安静です。その間、心電図モニターと酸素投与を行います 便が出たら色や状態を観察しますので、看護師にお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> 血圧・脈拍・体温・症状を状況に合わせて随時観察していきます 排便後は必ず観察してください 								
その他	<ul style="list-style-type: none"> 主治医が治療の説明をします 治療の同意書をお出しください 輸血をする場合、主治医より輸血についての説明をします この時、輸血同意書をお渡しします。署名・捺印の上お出しください 入院療養計画書をお渡ししますので、署名のうえお出しください 			<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師が薬について説明をします。分からないことは遠慮なくお聞きください。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士が食事について説明をします。わからないことは遠慮なくお聞きください。 				<ul style="list-style-type: none"> 次回受診日の予約をしてお知らせします 月 日 曜日 時 分 退院後の生活について説明します 退院療養計画書をお渡ししますので、署名の上お出しください 	
説明者										

*状態に応じて予定が変わる事があります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医() 担当看護師()

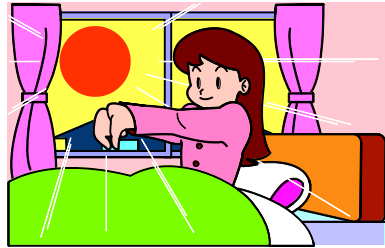
入院負担割合	3割	70歳以上(1割)	70歳以上(2割)	70歳以上(3割)
負担額	約170,000円	約60,000円	約70,000円	約170,000円

内視鏡的止血術を受けられた _____ 様へ

☆退院後は以下のことに注意して過ごしましょう！

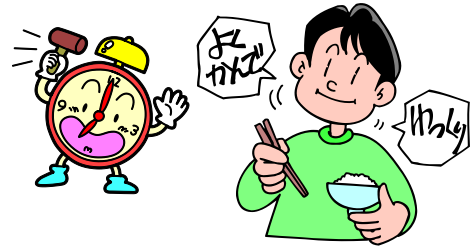
日常生活の心得

1). 睡眠を十分とり、早寝早起きすること。



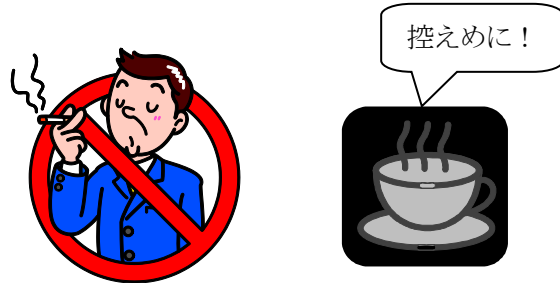
・寝不足は、体にストレスがたまる一方で疲労が改善されません。
十分睡眠を取ってください。

2). 食事時間は規則正しく、よくかんで食べること。



・多少忙しくても、食事の時間になったら頭を切り替えて、ゆっくり食事をとるようにしましょう。
食事を抜くようなことはせずにきちんと食べましょう。
・ゆっくりくつろいで腹八分目の食事をするのは、消化によいことです。

3). 煙草はやめること。
コーヒーは控えること。



・喫煙は潰瘍になりやすい危険因子です。煙草を吸わない人の約2倍あるそうです。喫煙は治るスピードを遅らせ、さらに再発率を高めます。
・精神的なリラックスに役立つとお考えの方もおいででしょうが、特に再発を繰り返す方は禁煙を考える必要があると考えます。
・コーヒーに含まれるカフェインは胃を刺激します。できるだけ薄いコーヒーにして空腹を避け、何杯も飲まないという条件が守れれば飲んでもよいでしょう。

4). 規則正しい生活をし、過労を避けること。
できるだけ精神的安静を持つ。



・忙しさにまかせて、体を使い過ぎていませんか？
・体が疲れたら休み、疲れを取る様にすることこそ大切な事なのです。
・ものごとに拘らずに、ストレスを解消できるような趣味を持ったり、軽い運動したりしましょう。

5). アルコールは控えましょう。



・お酒はどのような種類のものでも潰瘍が治るまでは控えてください。その後も害にならない程度にしておきましょう。

6). 内服は続けましょう。



・薬は指示通り飲みましょう。
・用法・用量を守りましょう。
・自分の判断で服薬を中止しないで再発防止のためにも、必ず医師の指示に従いましょう。
・ほかの薬も飲む場合は必ず医師に相談しましょう。
ある種の薬（かぜ薬、痛み止め、炎症を抑える薬、血圧を下げる薬など）は潰瘍・胃炎を悪化させることがあります。また、薬の飲み合わせが悪いと思ってもよらぬ副作用が起きることもあります。他の病院から薬をもらっている時や潰瘍・胃炎の治療中に別の病院・診療科を受診する時は、それぞれの医師に必ず相談してください。

7). 定期検診をしましょう。



8). 便の色を観察していきましょう。



・血便・黒い便や赤黒い血が混じったような便が出た時、又は、血の混じったものを吐いたときは必ず受診しましょう。